

自主審議した意見書は尊重して！ 総務委が地域協議会会長さんと意見交換

市議会総務常任委員会と地域協議会会長さんたち（28人）との意見交換会が3日、開催されました。会場となった春日謙信交流館には、地域協議会会長さん、傍聴の議員、地域協議会委員など60人ほどが集まりました。

会では、滝沢委員長が意見交換会の趣旨や会議の進め方などについて説明した後、4つのグループに分かれて意見交換をしました。

私が入ったグループでは、「私たちの地域協議会では自主的な審議を常にやっている。いまは人魚館の活性化がテーマだ」「意見書を出してもノーといわれればそれまでだ」「3元代表制云々など議会が勘違いされているのではないか」「諮問には廃止ありきのものがあった。いくら地域協議会で発言しても取り上げない無謀なやり方だ。」



議会や木田庁舎に届いているのか」「自主的な審議で時間をかけて意見書をあげても、重みを持って受けとめていないのではないか」「平成19年1月に、都市内分権及び住民自治に関する調査研究書が出ている。この文書をパイルのようにして活用してきた。地域協議会、地域自治区の問題をどうするかを考えるなら、この文書に戻るべきだ」など率直な意見が相次ぎました。他のグループでも真剣な意見交換が行われたようです。左のイラストは上がDグループ、下は私が進行役を務めたCグループです。

この日の会でだされた意見は今後の総務常任委員会で検討されることとなります。時間がかかるかも知れませんが、一つひとつ真剣に議論していきたいと思えます。



「老齢基礎年金等の抜本的な改善を」の請願、本会議で不採択

3月議会に提出された3つの請願のうち、①老齢基礎年金等の抜本的な改善を求める請願、②「最低賃金の改善と地域経済回復に向けた」意見書の採択を求める請願は、3月28日の本会議において、①は賛成13、反対17、②は賛成10、反対20となり、いずれも賛成少数で不採択となりました。



このうち、老齢基礎年金等の抜本的な改善を求める請願は審査を付託された厚生常任委員会では賛成多数で採択という結果が出ていたものです。

本会議での討論で上野公悦議員は、「今、政府がやろうとしている0.4%のマイナス改定は、20年度の実質賃金が下がったことを理由にしているが、この下がった原因は、新型コロナの影響を受け、現役労働者の賃金が減ったことによるものだ。今、食料品や灯油などの価格が上がり続け、生活必需品にも大きな影響が出てきている中で、2年も前

の賃金低下を理由に年金を下げるということは、まったくもって理不尽。ますます、貧困を広げ、高齢者の暮らしを追い込む年金削減はすべきではない。全国政令都市20市が国に対して行った、『公的年金制度そのものが、高齢者や障害者の生活を安心して支えるものとなるよう、老齢年金などの支給額を改善するよう』要望したことを受け、若者に将来負担を負わせるのではなく国の責任で年金支給額を含め、抜本的な年金制度の改善を図ることは喫緊の課題だ。ぜひ採択を」と訴えました。

「最低賃金の改善と地域経済回復に向けた」意見書の採択を求める請願では、橋爪が討論に立ち、「本請願は、地域経済の好循環を実現するために、①地域別最低賃金の大幅引き上げ、②地域間格差を是正する全国一律制度の実現、③中小企業への支援策の強化、の3つが必要だとして国に意見書の提出を求めているもの。コロナ禍で中小企業・小規模事業者の経営が厳しくなっていることは事実だ。それだけに政府から最賃引き上げ支援を含めた中小企業へのしっかりした支援が必要だ」と採択を求めました。



【アケビ】（再掲）アケビ科のつる性落葉低木。漢字で「木通」「山女」などと書きます。若芽は高価な山菜として有名です。秋に実る果実は、子ども時代、おやつ代わりに食べ物としてよく食べました。果実の皮を好んで食べる人もいますが、私は苦手です。花言葉は「才能」「唯一の恋」です。写真は5日、吉川区代石で撮影しました。

はしづめ法一の 活動レポート

No.2056 2022.4.10

発行・編集 日本共産党上越市議 橋爪のりかず
Tel 025-548-3628

通じないときは 090-5392-1961

E-mail hasiznyg_0808@yahoo.co.jp

URL <http://www.hose1.jp/>



ブログ
「ホーセの
てある記」は
← こちら

橋爪法一

検索

春よ来い

第七〇三回

笑顔製造マシーン

いま一番楽しみになっていることは何ですかと聞かれれば、「孫の便りです」と答えます。

正直に言いますと、愛知県に住む孫についての便りは、これまで私のところに来ることはまず、ありませんでした。たいがいは連れ合いのところ、またはふだん私が管理していないわが家のiPadにきていたのです。

それが二回ほど私のところに直接来たのです。パソコンの都合だとかスマホの都合だとか言っていました。そんなことはどうでもいいのです。私にとっては、「孫からおじいちゃんのところへ便りが直接来る」ということが重要なのです。

まず一回目です。三月二十五日のことでした。夕方、私のスマートフォンを見たら、次男の連れ合いから動画が届いていました。わずか九秒の動画ですが、孫のリョウ君が鉄棒の逆上がりをしている様子が記録されていました。

鉄棒は足が届くくらいの高さです。リョウ君が両足をけり上げて腰の部分を鉄棒よりも上に持っていくことができたものの、それから足を下げるのに苦戦しています。

そこでお母さんから「ガンバレ」の声が三度かかき、ようやく足を下げ、回転できました。その瞬間、お母さんの「ああ、できた」の声が入りました。ひよっとすると初めて逆上がりができたときの動画だったのかも知れません。

この動画を見て私は、自分のことのようにうれしく思いました。そして驚きました。すぐに「すごい、すごい、えらいぞー」と返信をしました。じつは私自身、旧源小学校水源分校時代にこの逆上がりがなかなかできなくて苦労した記憶が残っていたのです。できたのは、おそらく四年生か五年生になってからだと思います。

二回目は四月一日。今度は私と連れ合い

の誕生日祝いの動画です。これも私のスマートフォンにきました。

動きはじめる前の画面には大きな段ボール箱が写っていました。「はて、何だろう」と思った瞬間、段ボール箱の上部が動きだし、なんと箱の中からリョウ君がニコニコしながら出てくるではありませんか。これには驚き、こちらまでニコニコしてしまいました。

音声が出来るようにして、もう一度動画を見ると、まず、段ボールの中から、「お誕生日」というリョウ君の大きな声が聞こえました。次いで、段ボールを押しつけるようにして、「お・め・で・と・う」と言いながらリョウ君が姿を現したのです。

この動画を連れ合いに見せたら、私と同じです、すぐに笑顔になりました。それにしてもこんな楽しいプレゼントを誰が考えたのでしょうか。次男夫婦からリョウ君か。どちらにせよ、よく思いついたものです。この動画は繰り返し見ました。数えてはいますが、もう一〇回以上は見ています。見るたびに笑顔になりますから、この動画はまさに「笑顔製造マシーン」ですね。

リョウ君は七年前、予定日よりも一か月早く生まれました。体重は二四〇〇g弱という大きさだったので、お母さんのお腹からヒューッと出てきたのですが、その後、おかげ様でほぼ順調に成長してくれました。そして、この四月六日、リョウ君は小学校に入学しました。

リョウ君は、生まれたばかりのとき、右の足の指を動かさず、何かをけるようなしぐさをして、私たちを喜ばせてくれました。あれからもう七年経ったのです。亡き父・照義は、「孫は自分の子どもの十倍かわい」とよく言っていました。その言葉の意味がよくわかるようになりました。これからもみんなを笑顔にしてほしい。

NHKの番組も紹介して質問展開

3月議会の総務常任委員会審査では、テレビ放映された番組も紹介して質問しました。その1つは、3月5日の夜のNHK総合で放映された「新・映像詩 里山」の第1回、「新潟の棚田 豪雪と生きる」です。隣の十日町市松代が出てきて、しかも私もよく見ている風景がたくさん出てきました。豪雪地だからこそ助け合って生きる、その姿が美しい自然や労働の風景とともに映し出されていました。

私は番組内容に触れながら、上越の魅力発信の大切さについて発言しました。



大島区棚岡の大きな柳の木と保倉川の流れ

片桐なおみさんを囲む会
原発の再稼働に一貫して反対してきた片桐なおみさんを囲む会が11日19時から市民プラザで開かれます。
上越市は柏崎刈羽原発の隣接自治体。ぜひ片桐さんの話をお聞きください。

ニュースフラッシュ

上越地域各消防署における空間放射線量率測定結果

測定は毎日午前9時。数値はマイクロシーベルト。1時間当たりの測定量です。消防署によると、通常は1時間当たり0.016~0.16μSv(マイクロシーベルト)だとのこと。

	3月30日(水)	4月6日(水)
上越南消防署	0.050	0.057
上越北消防署	0.043	0.047
新井消防署	0.050	0.050
頸北消防署	0.047	0.050
頸南消防署	0.060	0.063
東頸消防署	0.040	0.047
名立分遣所	0.053	0.057
高士分遣所	0.040	0.047